

(人を対象とする医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

このたび以下の研究を実施いたします。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。未成年の方の場合は、保護者の方からのご連絡にも対応致します。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 動画像によるてんかん発作検知システムの開発

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター病院 精神科 岡崎光俊

【本研究の目的及び意義】

てんかんには色々な種類の発作があり、大きく分けると意識がなくなる発作と意識がなくなる発作があります。意識がなくなる発作の場合、自分で発作があったことがわからなかったり、発作のときに思わぬ怪我をしたりすることがあります。この研究は将来的には、ビデオ画像を使って発作を検知しアラームを鳴らして知らせたり発作を録画したりするシステムの開発を目指しています。ビデオを使うので、脳波のように頭に電極をつけたりする必要がなく、体への負担がありません。このシステムが完成すれば、例えば寝ている間にあった発作を記録したり、発作があったときにアラームが鳴ってご家族や介護をされている方がすぐに駆けつけてケアをしたりすることができるようになります。

この研究では、過去に行った長時間ビデオ脳波のビデオデータを使って、発作検知のための動画解析方法を開発します。

研究に関するデータは、個人を特定できない形式にして管理し、あなたの個人情報が外部に漏れないようにします。あなたのビデオ脳波検査データ(動画データおよび脳波データ)は、パスワードでロックした記録媒体に保存し、国立精神・神経医療研究センター病院から共同で研究を行っている東京農工大学に送り、そこで解析されます。送られたデータは東京農工大学の先端情報学研究室にある鍵のかかる棚に保存されます。東京農工大学に送られた動画内の顔画像は、解析のために必要な段階までは残しますが、解析が終了した時点で動画を削除するか顔にモザイクをかけて隠すなどの処理をします。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2011年4月1日より2016年3月30日までの間に、当院で長時間ビデオ脳波検査を受けた方  
利用する試料・情報等

作成年月日： 2018年 8月 16日 第1版

情報等：過去に記録した長時間ビデオ脳波検査の動画と脳波データ

研究期間

2017年 4月 21日より2022年 3月 31日まで

**【共同研究機関】**

東京農工大学      研究責任者    田中雄一

2018年8月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院 精神科

岡崎 光俊

電話番号 042-341-2711(代表)

e-mail:okazakim※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail:ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)